

成田市都市計画審議会 会議概要

1 開催日時

平成27年3月13日(金) 午後2時から午後4時まで

2 開催場所

成田市花崎町760番地

成田市役所 議会棟3階 執行部控室

3 出席者

(委員)

宗藤委員、鎌田委員、片岡委員、岡野委員、諸岡委員、小澤委員、湯浅委員、一山委員、會津委員、松田委員、湯田委員、蛭子委員(茶谷委員代理)、茂手木委員、篠田委員(順不同)

(事務局)

藤田副市長、岩岡都市部長、齊藤都市部技監、宇澤都市計画課長、大竹都市計画課長補佐、富澤係長、飯嶋主査、池田主事

(議案第1号説明員)

木内生涯学習課長補佐、小川係長

(報告第3号説明員)

後藤市街地整備課長、浦壁主査

4 議題

(1) 議案

議案第1号 成田都市計画 教育文化施設の変更について(成田市決定)
〔付議〕

(2) 報告

報告第1号 非線引き都市計画区域における土地利用方針について〔報告〕

報告第2号 成田都市計画に係る都市計画区域の整備、開発及び保全
の方針の原案について〔報告〕

報告第3号 JR成田駅東口第二種市街地再開発事業の進捗状況について
〔報告〕

5 議事(要旨)

議案第1号「成田都市計画教育文化施設の変更について」の付議では、都市施設の区域の一部廃止に伴う変更について、原案のとおり全会一致にて可決した。

(質疑応答)

議案第1号 成田都市計画 教育文化施設の変更について(成田市決定)〔付議〕

質疑なし

報告第1号 非線引き都市計画区域における土地利用方針について〔報告〕

意見(委員)

成田市の非線引き区域は、非常に優良な農地が広がっている土地であるため、この方針に基づいた形で土地利用を誘導し、農業生産に支障の無いようにしていただきたい。

質問(委員)

土地利用方針の目標年次の設定はあるのか。

回答(事務局)

市として土地利用を誘導する方向性を示したものであるため、具体的な目標年次はございません。

意見(委員)

空港を擁するまちとして、また農業の盛んなまちとして、成田市の将来あるべき姿を見据え、活力ある発展に寄与する方針となることを期待する。

質問(委員)

成田市の景観計画の中で、視点場の確保をうたっていると思うが、I Cや工場が立地していくことで、視点場が失われていく可能性がある。その点について、市はどのように考えているか。

回答(事務局)

一定規模以上の開発行為については、植樹帯を設けるなど、周辺環境への配慮が必要になってきますので、里地景観のなかでも違和感のないものができるかと考えております。

意見(委員)

基本的に里地景観を保全する区域であるということを十分に意識して、開発をコントロールされたい。

意見(委員)

これからの成田を考えれば、大規模生産が可能な農業手法の導入や空港立地を活かした産業の活性化のほか、中心市街地に若い人が定住するような仕組みづく

りが必要である。人口減少の時代を見据えて、長期的な視点から市の施策を進めなければならない。

回 答（事務局）

只今いただいた意見については、都市計画に限らず、市のまちづくりという点で考えていかなければならない課題かと思えます。現在、市の新総合計画の策定を進めているところでございますので、いただいた意見なども踏まえて検討を進めていければと考えております。

報告第2号 成田都市計画に係る都市計画区域の整備、開発及び保全の方針

の原案について〔報告〕

質 問（委 員）

工業出荷額について増加が見込まれているが、どのように推計しているのか。

回 答（事務局）

この数値については、千葉県が推計しているものですが、過去の国勢調査の結果をもとに算定しており、政策的な要因も含めて増加傾向として示していると聞いております。

質 問（委 員）

P 1 1に「すべての世帯が・・・最低居住面積水準を確保できるように努める」とあるが、この水準とはどのようなものか。

回 答（事務局）

「最低居住面積水準」については第二次千葉県住生活基本計画に示されており、単身者については25㎡、2人以上の世帯については10㎡に世帯人員を乗じ、10㎡を足した面積となります。

意 見（委 員）

P 1 1に「空き家対策を推進していく」と記述があるので、成田市として積極的に空き家対策を進められることを期待する。

意 見（委 員）

市としては空港機能に期待している部分もあるようだが、空港としては行政に期待する部分はないと聞いている。物流基地を立ち上げる場合などは、空港と十分に協議して話を進めていく必要があると考える。

報告第3号 JR成田駅東口第二種市街地再開発事業の進捗状況について〔報告〕
質疑なし

6 傍聴者

なし